



若木

2025年10月31日 No. 7

町田市立町田第五小学校
校長 米山 哲也



～目を見て、笑顔で、心を込めて～

校長 米山 哲也

11月 霜月(しもつき)を迎えます。朝夕の冷たい空気が秋の深まりを感じさせます。木々の葉も思い思いの色に染まり、「山粧う(やまよそおう)」季節となりました。このまま、秋が駆け足で過ぎていきそうです。

さて、今月の学校だよりでは「あいさつ」について考えてみたいと思います。あいさつは漢字では「挨拶」と書きます。「挨(あい)」という漢字には「押し開く」という意味があり、「拶(さつ)」という漢字には「近づく」という意味があります。つまり、挨拶とは「心を開いた状態で、人の心に迫る」という意味なのです。人と人が互いに自分の心を開き、気持ちを相手に伝え、相手の気持ちを受け入れる、そのような人間関係をつくるためには、挨拶が大切だということが分かります。そこで先日の全校朝会では、子どもたちに向け「あいさつ名人になるための4か条」という話をしました。

あいさつ名人になるための4か条

「あ」：あかるく (笑顔で)

- ◇まずは相手と目を合わせ、明るく笑顔で挨拶しましょう。
- ◇きっと、お互いに気持ちよく1日をスタートできることでしょう。

「い」：いつでも (どこでも、だれとでも)

- ◇親しい人だけでなく、関わりをもつ人に挨拶をしましょう。
- ◇思いがけない新しい関わりが生まれるかもしれません。

「さ」：さきに

- ◇あいさつは人より先に行くことが大切とされています。
- ◇先に気持ちを伝えることで、相手の好意を引き出せます。

「つ」：つづけよう (次の言葉を加える)

- ◇『おはよう。今日はいい天気だね』『こんにちは。昨日はありがとう』
- ◇あいさつの後にプラスα(アルファ)の言葉を続けることで、友達と関わりが深まります。



全校朝会の後、明らかに子どもたちの姿に変化が見られ、朝の昇降口や教室に入るときなど、より気持ちよい挨拶が響くようになりました。「うてば響く」という言葉のとおり、働きかけると、すぐに行動に移せるところが、町田第五小学校の子どもたちの素晴らしいところです。

もうひとつ、登下校の見守りをしてくださる、交通安全ボランティアさんへの挨拶についても触れました。最近是不審者対応で「知らない人には声をかけない、答えない」という意識があるのでしょうか。登下校時の挨拶が少し寂しいようです。「緑やピンクのチョッキ、緑の帽子、PTAの腕章やPTAの名札を身に着け横断旗を振る方々は、みんなの安全を守ってくれる大切な方々です。ぜひ気持ちのよい挨拶で、感謝の気持ちを伝えてください。」という話をしました。

各ご家庭でも「おはよう」「いただきます」「いってらっしゃい」という挨拶、地域では「こんにちは」「ありがとう」といった挨拶を意識していただければ幸いです。目を合わせ、言葉を交わすことで、家族の絆や地域とのつながりが、より深まっていくことでしょう。どうぞ、よろしくお願いたします。